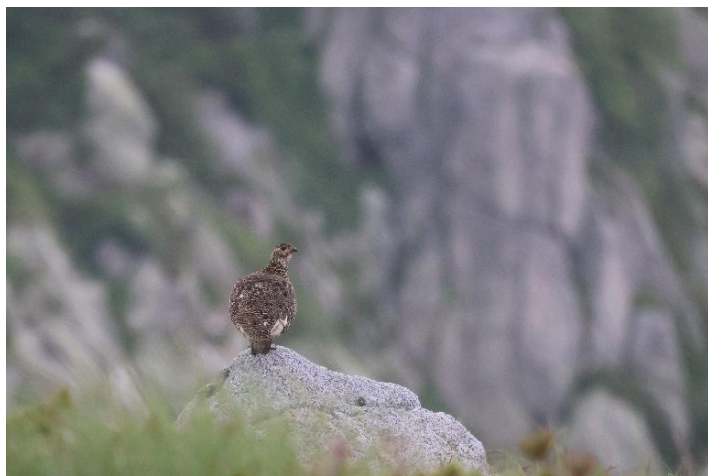


## ライチョウ 再び中央アルプスに

1969年を最後に目撃が途絶えて、中央アルプスのライチョウは絶滅したと考えられていました。しかし、2018年7月に登山者がメス1羽を目撃したのをきっかけに、中央アルプスでライチョウを復活させる環境省の事業が始まりました。2025年には、中央アルプス全域で約190羽の生息が確認されています。



中央アルプスで生まれて自然下で成長するヒナ  
2025年7月7日伊那前岳周辺にて(撮影:戸谷省吾)



花崗岩の節理をバックに、高い所から雛たちの行動を見守るメス個体 2023年7月28日中央アルプス乗越浄土付近にて(撮影:戸谷省吾)



厳しい風雨を避けるため、ヒナを背中に入れるメス個体  
2024年7月22日中岳北斜面にて(撮影:戸谷省吾)



中央アルプスで生まれて自然下で成長するヒナと母鳥  
2025年7月7日乗越浄土付近にて(撮影:戸谷省吾)



中央アルプスで生まれて自然下で成長するヒナと母鳥  
2025年7月7日伊那前岳周辺にて(撮影:戸谷省吾)